

平成30年度千葉市あんしんケアセンター運営事業実績報告書の総括

項目	評価ができる事項	課題と考えられる事項
第1号介護予防 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援（居場所づくり、体操教室・健康講座の開催等）に取り組む際には、住民の主体性を尊重し、あんしんケアセンターは後方支援として関わっている。 ・社会福祉協議会や生活支援コーディネーター等と連携し、介護予防・日常生活支援総合事業対象者に対し、適切な情報やサービスの提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象者の把握やアセスメント・アプローチが適切に行えるように引き続き検討する。 ・介護保険制度の適切な利用と自助・互助活動の重要性について、さらに理解を促す。
総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・対応困難事例等について、相談の終結が確認できるまで包括3職種会議等において全員が経過を共有する等、組織的に対応している。 ・相談記録の電子化や相談業務のデータから地域を分析することで、業務の効率化を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマル・インフォーマルの社会資源の把握に努めているが、可視化が不十分であるため、マッピング等により地域への情報提供方法を工夫する必要がある。 ・継続支援ケースが増えており、対応に追われることが多い。
権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> ・「終活」に対するイメージには個人差があるが、終に対する啓発を継続したことで、少しずつ興味・関心が高まっている。 ・成年後見制度の検討にあたり、弁護士や司法書士等と連携することで新たなネットワークができてきているセンターもあり、権利擁護業務を行う体制整備が進んでいると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各センターにおいて、講座等を通じて終活や成年後見制度等の啓発をしているものの、当事者意識の醸成が必要と感じているセンターが多い。高齢者に対してだけではなく、子・孫世代にも幅広く呼び掛ける必要がある。
ケアマネジメント 包括的・継続的 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員への支援では、自立支援の視点や総合事業に関する考え方をケアプランに位置付けられるよう、実践に求められる内容を精査して研修を企画する等工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任介護支援専門員には、介護支援専門員への支援にあたり、スーパービジョン等の研修が必要との意見が見受けられた。 ・地域ケア会議の開催について、担当圏域内で開催に至らない地域もあるため、積極的に話し合いの場をもちたい。
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・例年ある講演会等の依頼がある一方で、これまで依頼がなかった地域からも依頼が来るようになっており、日頃の活動が徐々に浸透している。 ・担当圏域に生活支援コーディネーターが配置されたことにより、地域の介護予防教室に関する、より詳細な情報を共有できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に取り組むために、いきいき活動手帳を活用した具体的なセルフケア方法を伝えているが、その後の評価を支援するまでには至っていない。 ・基本チェックリストの実施にあたり、住民への働きかけや実施後の評価についてマニュアルを作成する等の準備が必要だった。
地域活動介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者や近親者のいない高齢者が多く住む地域における介護予防教室では、身体・生活状況の把握も同時に行い、見守り支援や閉じこもり防止の機会にもなっている。 ・福祉作業所の空きスペースマップを活用して、趣味の会等が立ち上がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに立ち上がるサロン等がある一方で、活動場所の確保（金銭面）等の問題により、立ち上げ支援が中止となったものがあつた。 ・ボランティアの高齢化等が地域課題として挙がっており、今後の取組みが必要である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情の発生を予防するため、過去の苦情を整理し、注意を図っている。 ・個人情報の取扱いにあたっては、持ち出す際の複数職員による確認や持ち出し管理簿による管理を行うことで、個人情報を取扱っていることへの意識付けをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんケアセンターの周知度には差があるため、周知が進んでいない地域への広報・周知活動が課題となっている。